

2005年度
第3四半期決算説明会

代表取締役社長
西尾進路

<http://www.eneos.co.jp>

2006年2月3日



新日本石油
Your Choice of Energy

<05年度損益概要>

	第1～3四半期 (05/4-12月)		05年度 (今回発表)	<参考> 05年度 (11月発表)
	実績	うち第3四半期	見通し	見通し
原油価格 (\$ / Bbl)	52.7	54.8	53.7	52.4
為替レートの (円 / \$)	111.0	115.5	112.5	110
原油込内 燃料油販売数量 (万 KL)	4,186	1,487	5,860	5,620
	兆 億円	兆 億円	兆 億円	兆 億円
売上高	43,104	16,094	61,100	57,600
営業利益	2,305	850	2,950	2,230
営業外損益	△ 16	△ 62	50	70
経常利益	2,289	788	3,000	2,300
(在庫影響)	(1,356)	(231)	(1,550)	(900)
(在庫影響除き)	(933)	(557)	(1,450)	(1,400)
特別損益	△ 31	△ 3	△ 90	10
当期純利益	1,213	394	1,530	1,210

1. 05年度第1～3四半期 決算概要

<05年度第1～3四半期実績>

	04年度 第1～3四半期	05年度 第1～3四半期	増減
原油価格（\$ / Bbl）	36.0	52.7	+ 16.7
為替レートの（円 / \$）	108.7	111.0	+ 2.3
原油込内需 燃料油販売数量（万KL）	4,114	4,186	+ 72
	兆 億円	兆 億円	億円
売上高	35,421	43,104	+ 7,683
営業利益	1,554	2,305	+ 751
営業外損益	73	△ 16	△ 89
経常利益 （在庫影響）	1,627 (540)	2,289 (1,356)	+ 662 (+ 816)
（在庫影響除き）	(1,087)	(933)	(△ 154)
特別損益	42	△ 31	△ 73
当期純利益	1,019	1,213	+ 194

<05年度第1～3四半期 営業利益の増減分析> (前年同期比)

2, 305億円 (前年同期比 +751億円)

1. 石油精製・販売 (石油製品・石油化学製品)	+ 286 億円
(1) 在庫影響 (540⇒1,356)	+ 816
(2) 販売数量増	+ 30
(3) 自家使用燃料代の悪化	△ 176
(4) タイムラグ	△ 62
(5) コスト削減・効率化 (経費増)	△ 63
(6) マージンほか	△ 259
2. 石油・天然ガス開発	+ 440 億円
(1) 販売数量増	+ 237
(2) 販売価格上昇	+ 176
(3) その他	+ 27
3. 建設・その他	+ 25 億円
(1) コスト削減・効率化	+ 13
(2) マージンほか	+ 12

2. 05年度見通し

<05年度見通し>

	05年度見通し (11月発表)	05年度見通し (今回発表)	増減
原油価格 (\$ / Bbl)	52.4	53.7	+ 1.3
為替レートの影響	110	112.5	+ 2.5
原油込内需 燃料油販売数量 (万 KL)	5,620	5,860	+ 240
	兆 億円	兆 億円	億円
売上高	57,600	61,100	+ 3,500
営業利益	2,230	2,950	+ 720
営業外損益	70	50	△ 20
経常利益	2,300	3,000	+ 700
(在庫の影響)	(900)	(1,550)	(+ 650)
(在庫の影響除き)	(1,400)	(1,450)	(+ 50)
特別損益	10	△ 90	△ 100
当期純利益	1,210	1,530	+ 320

(06/1-3月)
56.1

(06/1-3月)
116.1

<05年度営業利益の増減分析(前回見通し比)>

2,950億円(前回比+720億円)

1. 石油精製・販売	(石油製品・石油化学製品)	+625	億円
(1)在庫影響(900⇒1,550)		+650	
(2)販売数量増		+21	
(3)自家使用燃料代の悪化		△44	
(4)コスト削減・効率化(経費増)		△23	
(5)マージンほか		+21	
2. 石油・天然ガス開発		+97	億円
(1)販売数量増		+2	
(2)販売価格上昇		+21	
(3)円安による売上増		+37	
(4)その他		+37	
3. 建設・その他		△2	億円

＜見通しに関する注意事項＞

本資料に記載されている当社の業績見通し、経営目標等のうち、歴史的事実でないものにつきましては、現時点で入手可能な情報に基づき、当社の経営陣が判断したものであります。

実際の業績等につきましては、さまざまな要素により、これらの業績見通し等と大きく異なる結果になりうることをご承知置き下さい。従いまして、業績見通し等に全面的に依拠して投資判断を下すことは、控えていただきますようお願いいたします。

なお、実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢、原油価格、石油製品の需要動向および市況、為替レートならびに金利の動向が含まれますが、これらに限定されるものではありません。

2005年度第3四半期決算

参考データ集

2006年2月3日

<目次>

1. 参考データ①

セグメント別売上高・営業利益(第1～3四半期)	P3
セグメント別売上高・営業利益(第3四半期)	P4
セグメント別売上高・営業利益(年度見通し)	P5

2. 参考データ②

油種別販売数量(単体)	P6
-------------------	----

3. 参考データ③

燃料油内需・当社販売・販売シェア	P7
------------------------	----

4. 参考データ④

スプレッド(ガソリン末端価格－原油CIF)の推移	P8
スプレッド(パラキシレン価格－ドバイ原油価格)の推移	P9
スプレッド(ベンゼン価格－ドバイ原油価格)の推移	P10
スプレッド(プロピレン価格－ドバイ原油価格)の推移	P11

5. 参考データ⑤

SS数(固定式)、セルフSS数、Dr.Drive数	P12
---------------------------------	-----

6. 参考データ⑥

トッパー稼働率、油槽所数、石油・天然ガス開発生産数量(日量)	P13
--------------------------------------	-----

参考データ①

<セグメント別売上高・営業利益(第1～3四半期) 前年同期比>

(1) 売上高

(単位：億円)

合 計						43,104(+7,683)					
石油精製・販売部門			石油・天然ガス 開発部門			建設部門		その他			
石油製品		石油化学製品									
35,859(+6,098)		3,054(+450)	38,913(+6,548)			1,301(+790)		2,297(+280)		593(+65)	

※カッコ内は前年同期比増減を示す。

(2) 営業利益

(単位：億円)

合 計						2,305(+751)					
石油精製・販売部門			石油・天然ガス 開発部門			建設部門		その他			
石油製品		石油化学製品									
1,272(+405)		292(△119)	1,564(+286)			659(+440)		16(+10)		66(+15)	

※カッコ内は前年同期比増減を示す。

参考データ①

＜セグメント別売上高・営業利益(第3四半期) 前年同期比＞

(1) 売上高

(単位：億円)

合 計						16,094(+3,250)
石油精製・販売部門			石油・天然ガス 開発部門	建設部門	その他	
石油製品	石油化学製品					
13,320(+2,614)	1,102(+91)	14,422(+2,705)	540(+348)	892(+139)	240(+58)	

※カッコ内は前年同期比増減を示す。

(2) 営業利益

(単位：億円)

合 計						850 (+198)
石油精製・販売部門			石油・天然ガス 開発部門	建設部門	その他	
石油製品	石油化学製品					
401(+55)	102(△89)	503(△34)	301(+215)	20(+13)	26(+4)	

※カッコ内は前年同期比増減を示す。

参考データ①

<セグメント別売上高・営業利益(年度見通し) 前回比>

(1) 売上高

(単位：億円)

合 計						61,100(+3,500)	
石油精製・販売部門			石油・天然ガス 開発部門	建設部門	その他		
石油製品	石油化学製品						
50,650(+3,250)	4,150(+50)	54,800(+3,300)	1,800(+100)	3,700(±0)	800(+100)		

※カッコ内は前回比増減を示す。

(2) 営業利益

(単位：億円)

合 計						2,950 (+720)	
石油精製・販売部門			石油・天然ガス 開発部門	建設部門	その他		
石油製品	石油化学製品						
1,505(+625)	388(±0)	1,893(+625)	922(+97)	70(±0)	65(△2)		

※カッコ内は前回比増減を示す。

参考データ②

油種別販売数量(単体)

油種	第1～3四半期 (05/4-12月)	うち第3四半期	前年同期比 (05/4-12月)
	万KL	万KL	%
揮発油	1,109	363	▲1.4
(ハイオク)	(212)	(66)	(+0.5)
(レギュラー)	(885)	(293)	(▲1.9)
ナフサ	487	163	+5.5
ジエツト	84	27	▲4.4
灯油	485	250	+16.2
軽油	655	224	▲1.0
A重油	579	203	▲7.1
C重油	638	211	+10.5
(電力C重油)	(322)	(108)	(+25.4)
(一般C重油)	(316)	(103)	(▲1.5)
内需燃料油計	4,037	1,441	+2.1
原油	149	46	▲6.7
原油込内需計	4,186	1,487	+1.8
ジョイントほか	2,567	945	+14.7
総計	6,753	2,432	+6.3

年度見通し	11月発表比
万KL	%
1,465	▲1.0
(282)	(▲2.7)
(1,168)	(▲0.6)
656	▲0.3
113	▲1.2
815	+2.8
865	▲0.1
817	▲1.4
877	+15.7
(459)	(+34.7)
(418)	(+0.1)
5,608	+2.0
252	+94.2
5,860	+4.2
3,560	+0.3
9,420	+2.7

参考データ③

燃料油内需・当社販売・販売シェア

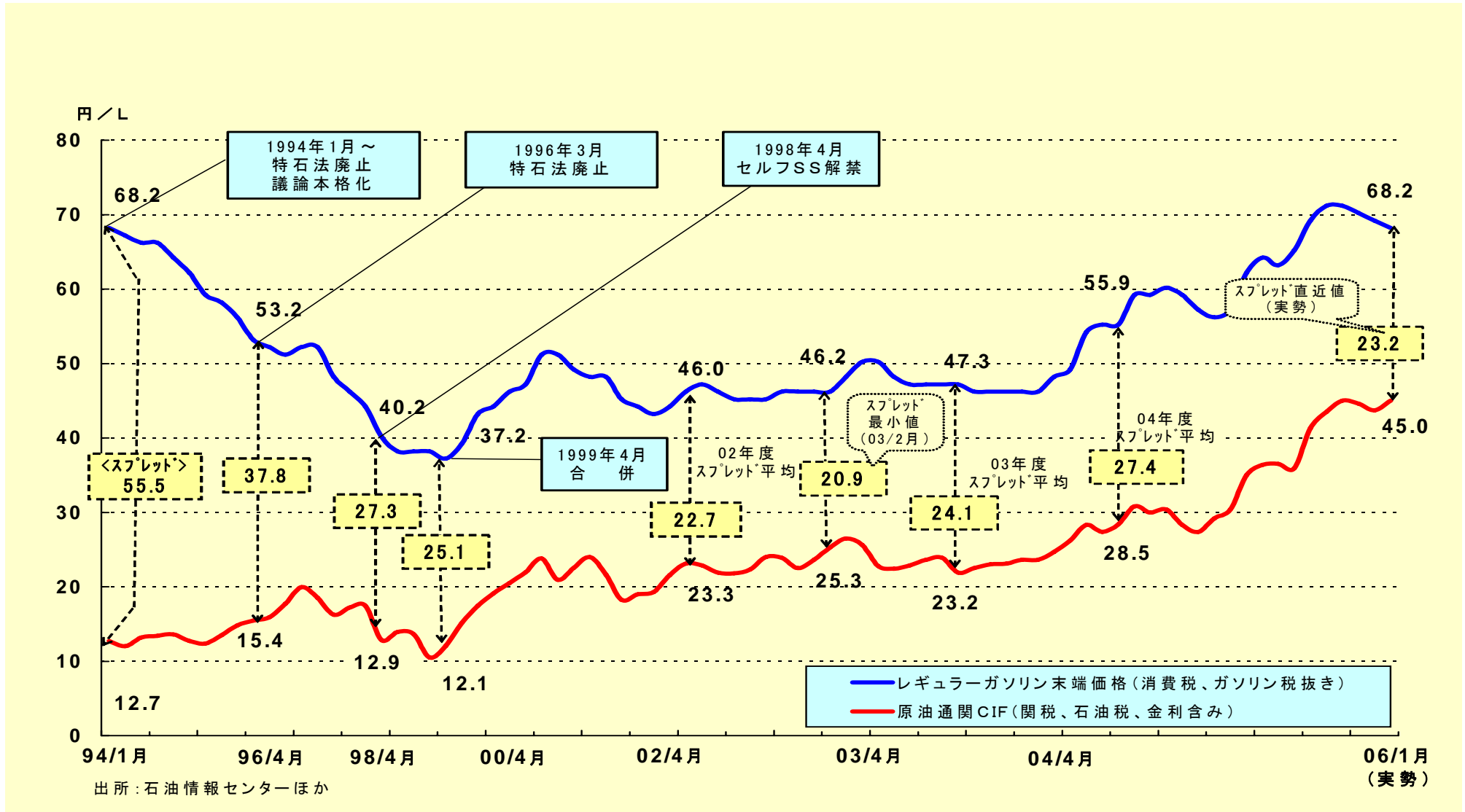
(単位: %)

油 種	燃 料 油 内 需 (05年度第1～3四半期/前年同期比)	当 社 販 売	販売シェア(消費ベース)			
			03年度	04年度	05年度	
					第1～3四半期	うち第3四半期
燃 料 油 計	+0.5	+2.1	22.6	23.4	23.6	23.5
(揮 発 油)	(+0.3)	(▲1.4)	(23.3)	(23.9)	(23.7)	(23.5)
(灯 油)	(+10.0)	(+16.2)	(24.3)	(27.6)	(29.1)	(27.9)
(軽 油)	(▲3.0)	(▲1.0)	(22.6)	(23.0)	(23.5)	(23.6)
(A 重 油)	(▲2.3)	(▲7.1)	(28.1)	(30.4)	(29.1)	(28.5)
(C 重 油)	(+0.3)	(+10.5)	(29.6)	(29.9)	(32.4)	(31.9)

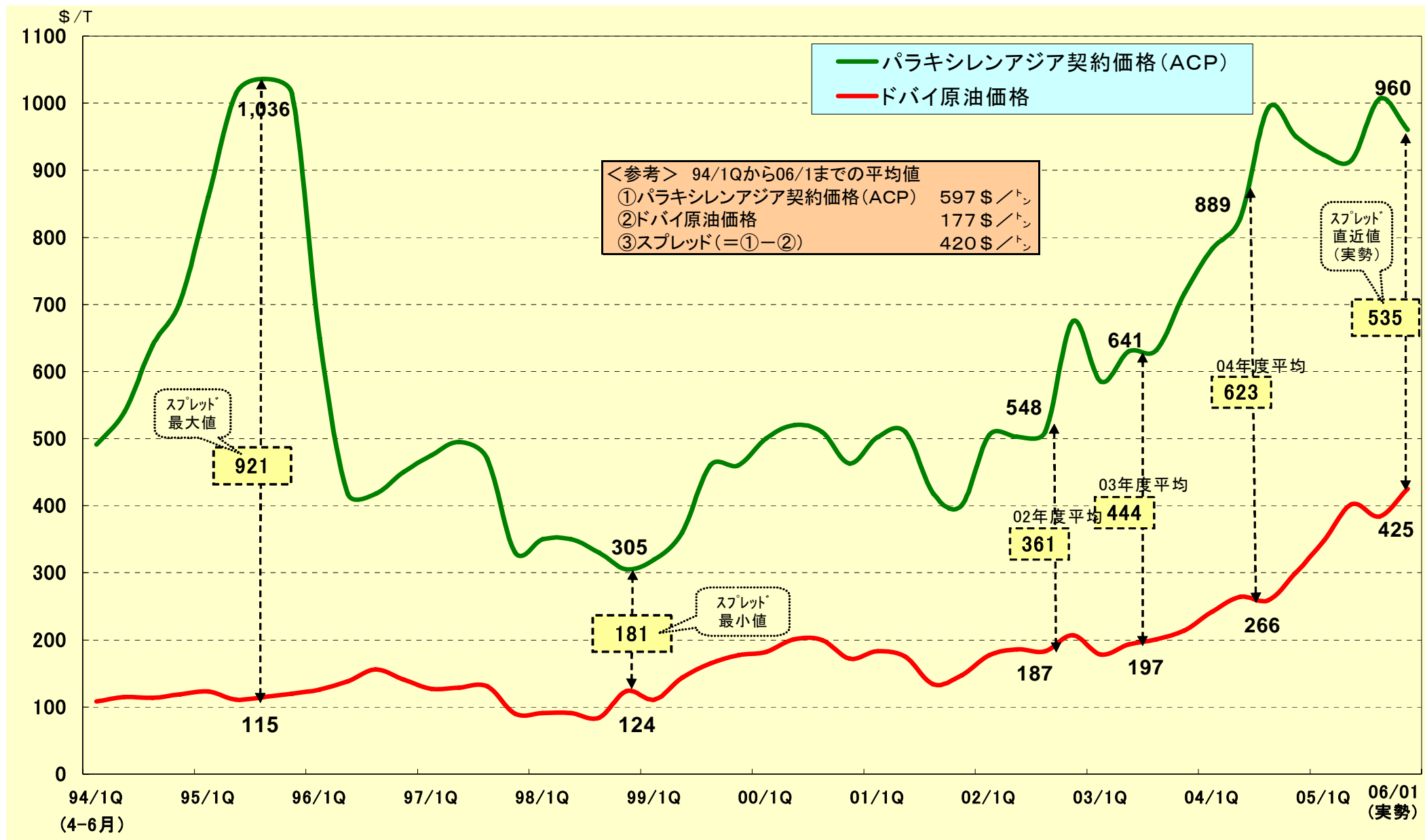
出所: 資源エネルギー庁

参考データ④

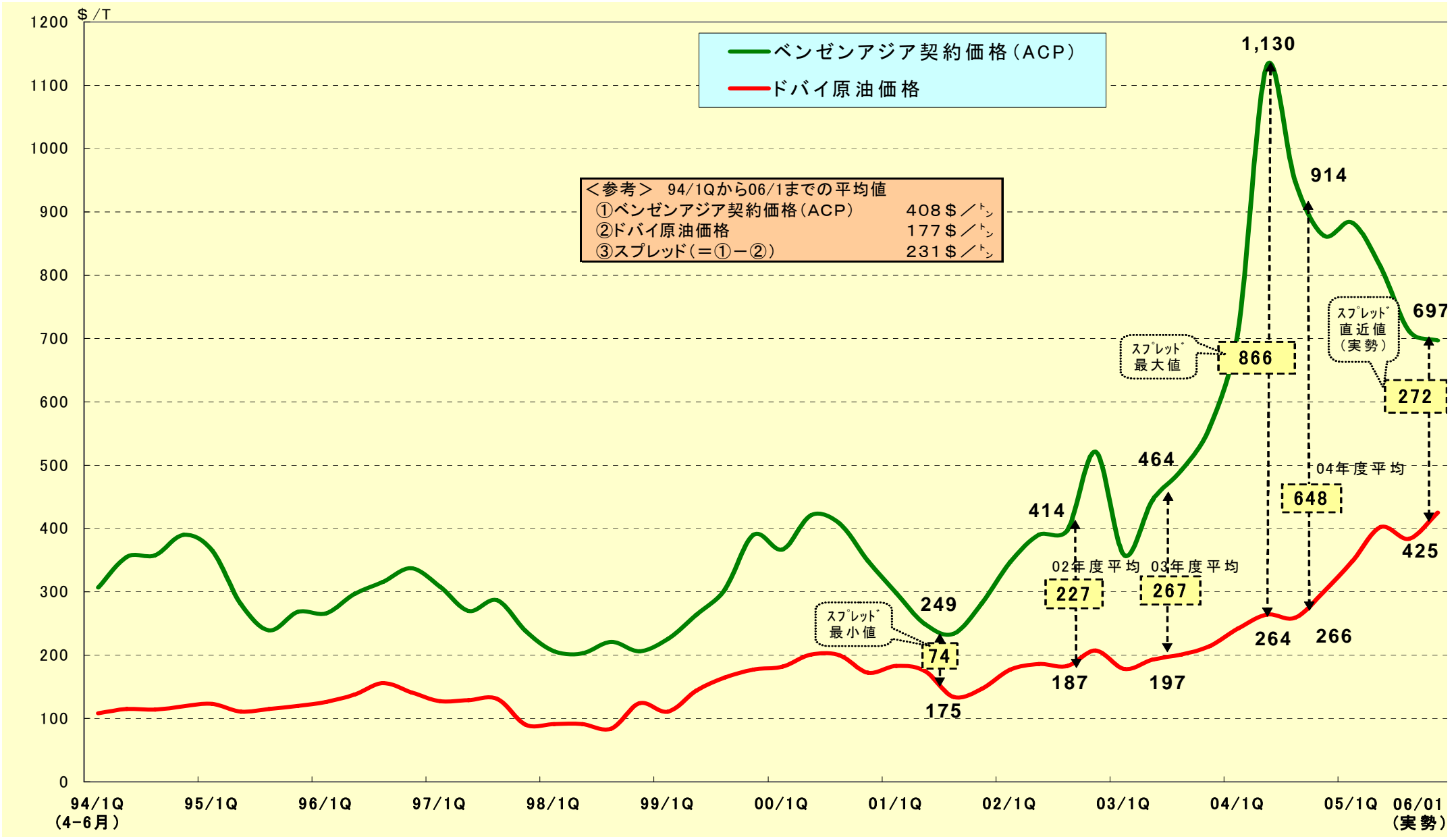
＜スプレッド(ガソリン末端価格－原油CIF)の推移＞



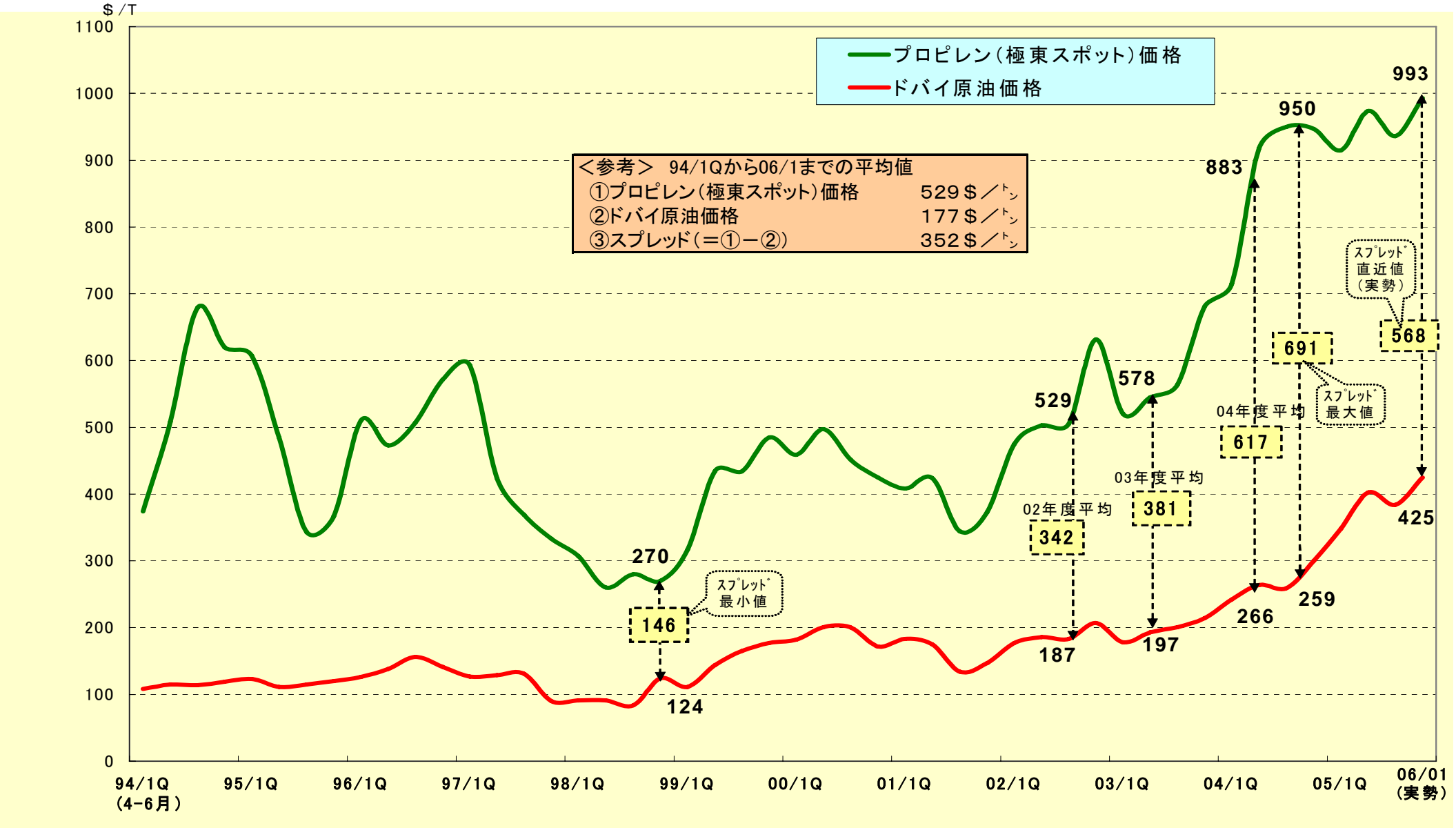
<スプレッド(パラキシレン価格ードバイ原油価格)の推移>



<スプレッド(ベンゼン価格ードバイ原油価格)の推移>



<スプレッド(プロピレン価格-ドバイ原油価格)の推移>



参考データ⑤

<SS数(固定式)>

	2002年度	2003年度	2004年度	2005年9月	2005年12月
新日本石油	11,694	11,333	11,059	10,936	10,889
(うち社有)	2,746	2,607	2,518	2,473	2,463

<セルフSS数>

	2002年度	2003年度	2004年度	2005年9月	2005年12月
新日本石油	342	520	651	698	760
全 国	2,522	3,423	4,103	4,449	—

出所：石油情報センター、燃料油脂新聞

<Dr. Drive数>

	2002年度	2003年度	2004年度	2005年9月	2005年12月
新日本石油	1,610	1,871	1,963	2,136	2,366

参考データ⑥

<トッパー稼働率>

	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度上期	2005年10-12月
新日本石油グループ	84	83	87	84	91

単位：%

<油槽所数>

	2003年4月	2004年4月	2005年4月	2005年9月	2005年12月
新日本石油	55	51	50	50	50

<石油・天然ガス開発生産数量(日量)>

	2002/1-12平均	2003/1-12平均	2004/1-12平均	2005/1-12平均
新日本石油グループ	50	66	111	155

単位：千BD

※プロジェクト会社取り分ベース

＜見通しに関する注意事項＞

本資料に記載されている当社の業績見通し、経営目標等のうち、歴史的事実でないものにつきましては、現時点で入手可能な情報に基づき、当社の経営陣が判断したものであります。

実際の業績等につきましては、さまざまな要素により、これらの業績見通し等と大きく異なる結果になりうることをご承知置き下さい。従いまして、業績見通し等に全面的に依拠して投資判断を下すことは、控えていただきますようお願いいたします。

なお、実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢、原油価格、石油製品の需要動向および市況、為替レートならびに金利の動向が含まれますが、これらに限定されるものではありません。